

豊饒な川の恵を愛でる人々 川魚を捕る

豊かな木曾川の清流は、周辺に住む人々にさまざまな恵みを与えてきました。
なかでも、周りを山々に囲まれた生活環境の中で貴重なタンパク源といえる川魚は、食糧として、また、魚釣りという娯楽として古くから周辺の人々と深く関わっています。
昭和の半ば頃まで、地元の人々が一家総出で川魚を捕って



「魚びん」と呼ばれるガラス瓶を川につけておき魚を集める漁法もそのひとつ。餌には各家庭で飼っていた蚕のさなぎを使ったそうです。魚びんで魚を捕る時は長丁場のため、味噌と鍋を持って谷川で味噌汁を作り、魚捕りを楽しむ、そんなのかな風景がよく見られたといえます。

いる姿がよく見られたといえます。漁獲量も多かった当時は、できるだけたくさん魚を捕るため独特の漁法がありました。



どの家庭でも、お客さんがある時には家族総出で魚を捕りに出かけたそうです。捕れたばかりの魚を煮たり焼いたりして、お客さんをもてなすためです。そんな生活の中から生まれたのが、数々の郷土料理。鯉のあらいや鯉こく、もろこの甘露煮など滋養のある料理は今も地元の料理旅館で受け継がれています。漁獲量の少なくなった今では、こんな漁法は禁止されましたが今でも川釣りを楽しむ人の姿が目立ちます。木曾川で釣れた魚だけを使う恵那の老舗旅館では、川釣りを副業として楽しむ老人たちから魚を仕入れて売っているのだとか。川で魚を捕ることを専業にできるほどの漁獲量はありませんが、養殖魚とは比べられない味わいの天然ものはお客さんに喜ばれるため老人たちの良い副収入になっているようです。
雄大な川の流れを背景に釣りを楽しむ人々は、古くから木曾川と共に生きてきた人々の暮らしを現代に伝える姿といえます。

水と昔話 蛇ヶ谷

八百津町

八百津の北端、七宗町の隣りの山の中に「蛇ヶ谷」と呼ばれる人家の少ない場所があります。これはそこに伝わるお話。
むかし、むかしのある年、その辺りはたいへんな干ばつで、たんぼや畑の作物が枯れる寸前でした。困り果てた村人たちに、神からのお告げがありました。
「あした一日、どの家も洗濯をしなければ雨を降らせてやる。」
お告げを聞くため集まっていた村人たちはこれを聞いて「とても簡単にできるありがたいお告げだ」と喜んで家に帰りました。
ところが、五兵衛だけは用事があり回り道をして夜遅くに家に帰ったのです。あまりに疲れていたため、雨ごいのごとも、神のお告げのごとも妻に話さず寝込んでしまいました。
あくる朝、五兵衛が目覚ますと……
ジャブ、ジャブ、ジャブ。
なんと裏の井戸端から妻が洗濯する音が聞こえてきました。びびりながら五兵衛は飛び起きて井戸端へ駆けつけ、妻を叱りつけました。
五兵衛から雨乞いのごみや神のお告げの話を初めて聞いた妻は、「なんで昨日のうちに話してくれなかった」と、夫を恨み、村人たちの期待を裏切った自分の罪の大きさに、死んで詫びようと近くの池に身を投げてしまったのです。
そして、その身は蛇神となって昇天して雲を呼び、やがて大雨を降らせたといわれています。それから、この地を「蛇ヶ谷」と呼ぶようになったそうです。



参考資料…八百津町「昔話アニメ」より

みずしるべ



新丸山ダムのキャラクター
しんまるくん

発行

建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

5

INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や関連する方々との情報ネットワークとして情報誌「みずしるべ」を発行しております。
「地域とダムと水」をテーマに内容をますます充実させて行きたいと思っております。ご意見・ご感想がございましたらぜひお寄せ下さい。



秋が深まり、八百津の町いたるところの栗林に栗がたわわに実ります。その栗を使って八百津町名物の栗きん糖がつくられます。

新丸山ダム概要

新丸山ダム建設事業は、木曾川本川が濃尾平野に流れ出る手前の峡谷に設置されている丸山ダムを大規模に嵩上げして、洪水調節能力を大きく向上させようというものです。

我が国あるいは世界で大きな役割をになっている中部圏を支え、更に発展させてゆくための基盤施設として、木曾川の新たなカナメとして生まれかわる新丸山ダムは、極めて大きな役割を果たすこととなります。

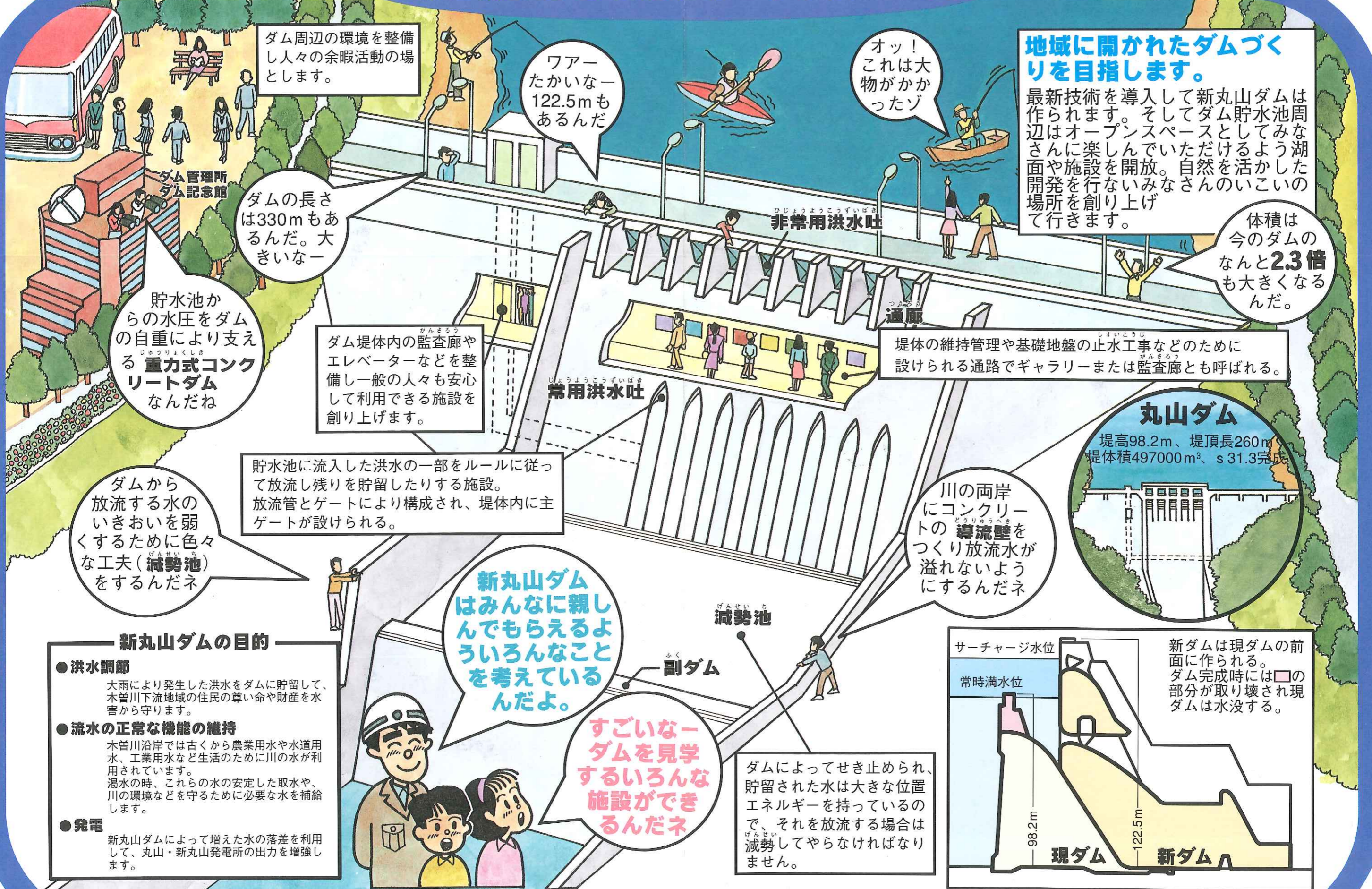


建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所
〒505-03
岐阜県加茂郡八百津町八百津3847



もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でも
お気軽にお問い合わせ下さい。
0574-43-2780(代)

水と緑にかこまれたオープンスペース



ダム周辺の環境を整備し人々の余暇活動の場とします。

ワアー
たかいなー
122.5mもあるんだ

オッ！
これは大物がかったゾ

地域に開かれたダムづくりを目指します。

最新技術を導入して新丸山ダムは作られます。そしてダム貯水池周辺はオープンスペースとしてみなさんに楽しんでいただけるよう湖や施設を開放。自然を活かした面発を進行ないみなさんのいこの場を創り上げて行きます。

体積は今のダムのなんと**2.3倍**も大きくなるんだ。

ダム管理所
ダム記念館

ダムの長さは330mもあるんだ。大きいなー

貯水池からの水圧をダムの自重により支える**重力式コンクリートダム**なんだね

ダム堤体内の**監査廊**やエレベーターなどを整備し一般の人々も安心して利用できる施設を創り上げます。

非常用洪水吐

通路

堤体の維持管理や基礎地盤の止水工事などのために設けられる通路でギャラリーまたは**監査廊**とも呼ばれる。

常用洪水吐

貯水池に流入した洪水の一部をルールに従って放流し残りを貯留したりする施設。放流管とゲートにより構成され、堤体内に主ゲートが設けられる。

丸山ダム
堤高98.2m、堤頂長260m
堤体積497000m³、s 31.3完成

ダムから放流する水のいきおいを弱くするために色々な工夫(**減勢池**)をするんだネ

川の両岸に**コンクリートの導流壁**をつくり放流水が溢れないようにするんだネ

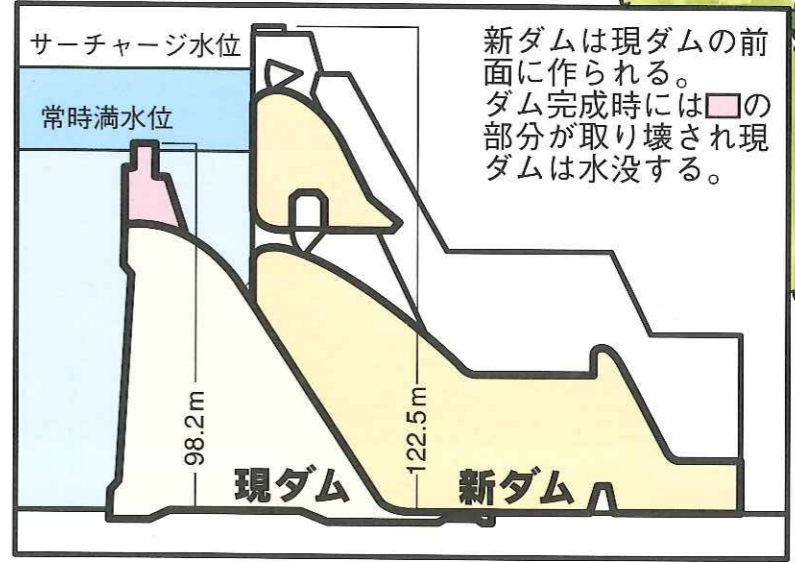
新丸山ダムはみんなに親んでもらえるようないろんなことを考えているんだよ。

減勢池

副ダム

すごいなーダムを見学するいろんな施設ができるんだネ

ダムによってせき止められ、貯留された水は大きな位置エネルギーを持っているので、それを放流する場合は**減勢**してやらなければなりません。



新丸山ダムの目的

- **洪水調節**
大雨により発生した洪水をダムに貯留して、木曾川下流域の住民の尊い命や財産を水害から守ります。
- **流水の正常な機能の維持**
木曾川沿岸では古くから農業用水や水道用水、工業用水など生活のために川の水が利用されています。渇水の時、これらの水の安定した取水や、川の環境などを守るために必要な水を補給します。
- **発電**
新丸山ダムによって増えた水の落差を利用して、丸山・新丸山発電所の出力を増強します。

ふれあい すぺ〜す

岐阜・御嵩町が生んだ大正の挿絵画家

人間美を探求し、 芸術家として生きた 田中比左良

庶民に親しまれた挿絵を愛し、晩年は画学生の指導を。

岐阜県御嵩町に生まれた田中比左良は、竹久夢二や岩田専太郎と同時代に活躍した挿絵画家です。とくに、日本女性の着物美を当時の風俗を手がかりにして最も表現した画家として歴史に残っています。

田中比左良、本名は久三。明治23年8月25日、可児郡中村西屋敷（現御嵩町西屋敷）に生まれました。少年時代から絵に関心を示した久三は、明治39年名古屋通信吏員養成所を卒業後、御嵩郵便局や八百津郵便局に8年間勤めながら、独学で絵の勉強を続けていました。その間、中国画二天流派のひとつ、南画家の松浦天龍に師事し、比左良の雅号を受けました。この名には、江戸時代の有名な彫物師



左甚五郎に比べても良いという意味がこめられていたようです。勤めのかたわら、投稿を続けた漫画ですが、遂に、その才能が認められる時がやって来まし



た。大正10年に主婦の友社に入社。嗜めて念願の挿絵主任となり、その才能が開花するのです。佐々木邦というユーモア小説家と組んだ挿絵は、説明のためだけの絵にとどまらず当時の日本女性の風俗を鋭い観察眼と温かなまなざしで表現し、当時の人々の絶賛を浴びました。また、昭和に至っては「人生漫画」というユーモアの中にも当時の時代の空気を敏感に映し出した挿絵が、そして比左良ファンをつくりました。

比左良の美人漫画が愛されたのは、ただ単に着物や女性美を礼賛することだけでなく、芸術家として人間美を追求していったその人柄が深く理解されたからでしょう。

戦後は、芸術界の指導的な立場にあり、また、田中比左良デザイン研究所を設立し、画学生の指導に自ら当た



りました。晩年の比左良は、好んで描いたという良寛和尚そのものの性格で、大衆を愛した彼の世界がますます深まってきました。昭和49年8月31日、奥さんの死後10日、妻を追うように亡くなったといえます。84才でした。菩提寺は御嵩町中北屋敷にある愚溪寺。多宝塔の西に比左良の彫刻を模した福・寿・和三体の「のんのみわらんべ」の石像が微笑む傍らにひっそりと眠っています。



いべんと インフォメーション

恵那市 1月1日 ●浅間七福万歳 (大井町富士浅間神社)

1月7日 ●七日福市(大井町市神社)

●お問い合わせ 恵那市役所 (0573)26-2111

八百津町 11月21・22日 ●産業文化祭(ファミリースター内)

●お問い合わせ 八百津町役場(0574)43-2111

瑞浪市 11月23日 ●農業祭(市役所前樽上球場)

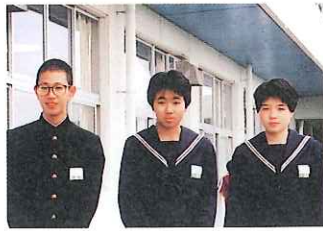
1月5日 ●岩屋不動五日えびす (明生町・清来寺)

●お問い合わせ 瑞浪市役所 (0572)68-2111

新丸山ダムトピックス

新庁舎正面玄関の壁画に 八百津町中学3年古田亮一君の 絵を採用

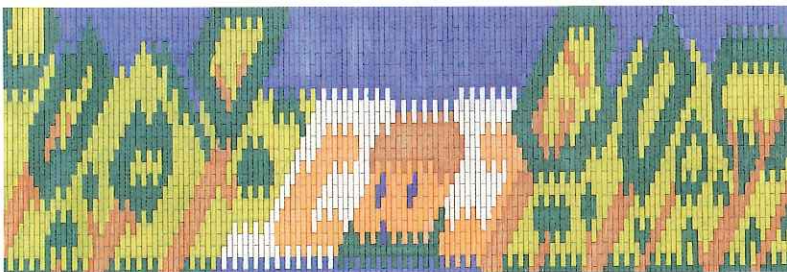
いよいよ本格化する工事に向けて新丸山ダム工事事務所新庁舎が平成5年3月の完成を目指し施工中です。今回これに伴い、事務所玄関に設置する壁画製作の為の下絵を地元八百津中学校へ依頼。その中の優秀な作品3点の中から古田亮一君の絵が選ばれました。当事務所では、下絵の作成者に対する感謝の意を表すため、事務所長より感謝状を贈呈します。



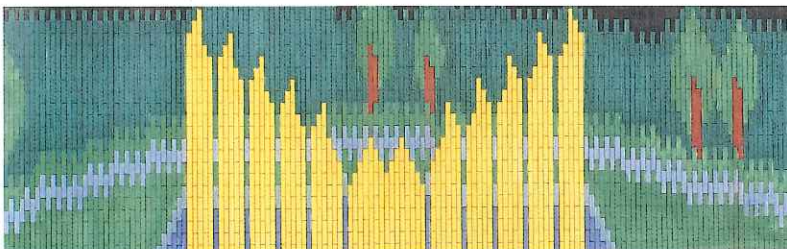
古田君 橋本さん 石井さん

●大きさ/高さ2.1m 横6.4m ●材質/陶製ブロック

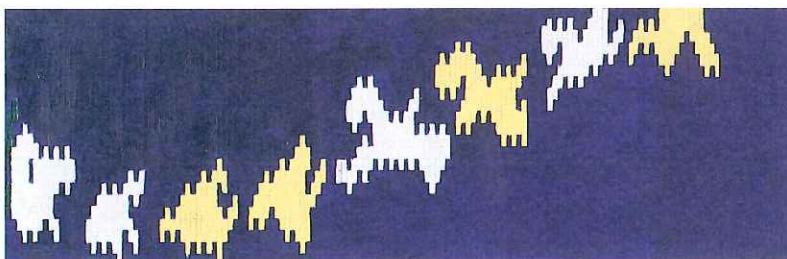
新丸山ダムと緑の山をバックに少年が両手を広げ、パワーアップのポーズ



▲古田亮一君の絵



▲橋本良重さんの絵



▲石井亜紗美さんの絵

事務所の動き

- 平成4年4月9日 平成4年度予算成立
新丸山ダム建設事業費24億円
- 4月以降 八百津町、御嵩町、恵那市、瑞浪市の各地区毎に補償基準説明会を順次行う
- 5月 新庁舎の建設はじまる
(八百津町ファミリーセンター北側)
- 6月以降 各地区毎に建物関係者生活再建個別協議を順次行う
- 10月22日 丸山トンネル貫通式行う

蘇水峡まつりに新丸山ダム出展 「おいしい水飲みくらべコーナー」

盛況

去る8月16日、八百津町で行われた蘇水峡川まつりにて、「おいしい水飲みくらべコーナー」を出展しました。ここに集まった人々には、全国から選りすぐられた名水5点を飲み比べていただき、楽しい一日を過ごしていました。



丸山トンネル貫通

工事用道路として利用される、国道418号八百津バイパスの丸山トンネル(全長181m)が無事、貫通。10月22日には、八百津町長はじめ町会議員、関係機関、地元関係者の方々にご出席をいただき、貫通式がとり行われました。これによって潮南方面と八百津地区とがぐっと近くなり大変便利になります。



付替道路、418号のルート決まる

国道418号は、恵那市と八百津町を結ぶ重要な道路です。今回新丸山ダムの建設によって貯水池右岸沿いの約18.7km(丸山ダム～笠置ダム間)で水没の区間が生じます。このため国道418号の付替を計画していましたが、このたびルートが決定いたしました。これにより沿道の皆様の交通が便利になると共に、八百津町および周辺地域の発展に大きな期待がもたれます。

付替計画	
延長	約15km
橋梁	約20橋
幅員	2車線
設計速度	50km/h

